

災害に強い学校施設づくり検討部会
(2013.7.30)

「防災教育」

～岩手・神戸・高知を結ぶ授業から～

「避難所」

～避難所における良好な生活環境の確保に
関する検討会(内閣府)から～

矢守 克也

(京都大学防災研究所教授)

(人と防災未来センター上級研究員)

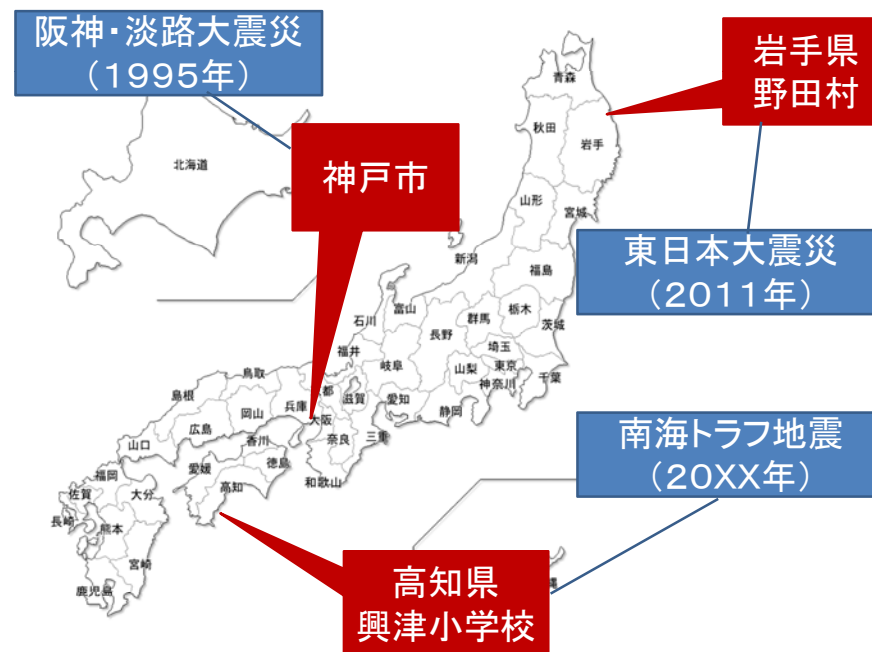
概要(まとめ)

- 「防災教育」
- 岩手県九戸郡野田村野田小学校での授業(2013/6/26)から
- 「防災教育」:私が考える3つのポイント
 1. 「防災についての教育」から「防災を通じた教育」への転換を(「自然の猛威」(だけ)ではなく、「人生」「生き方」「家族」の問題として)
 2. 自分の身を守る教育(「助かる教育」)だけでなく、下級生や立場の弱い人、あるいは、被災地を思いやる教育(「助ける教育」)も。
 3. 地域とのつながり、地域と地域のつながりを通じた防災教育(地域を越えて、世代を超えて)
- 「避難所」
- 「避難所における良好な生活環境の確保に関する検討会」(内閣府)最終報告に記載された3つのポイント
 1. 被災者の生活の場として発災直後からのフェーズに応じた良好な環境を
 2. 地域支援の拠点としての機能
 3. 被災者の多様性に十分配慮

野田小学校でのお話

矢守 克也

京都大学防災研究所



どうして野田村に来たの？



2011年3月
初めて野田村に来ました



文房具のお手入れ／
わんちゃんを洗ったり／
仮設住宅(中学校)でお
好み焼きを焼いたり



野田小のみなさんを神戸にお招き！



•2011年8月のこ
とでした



•神戸の子どもたちと一緒
に歌を歌ったり
•王子動物園に行ったり
•大学生のおにいちゃん、
おねえちゃんと遊んだり



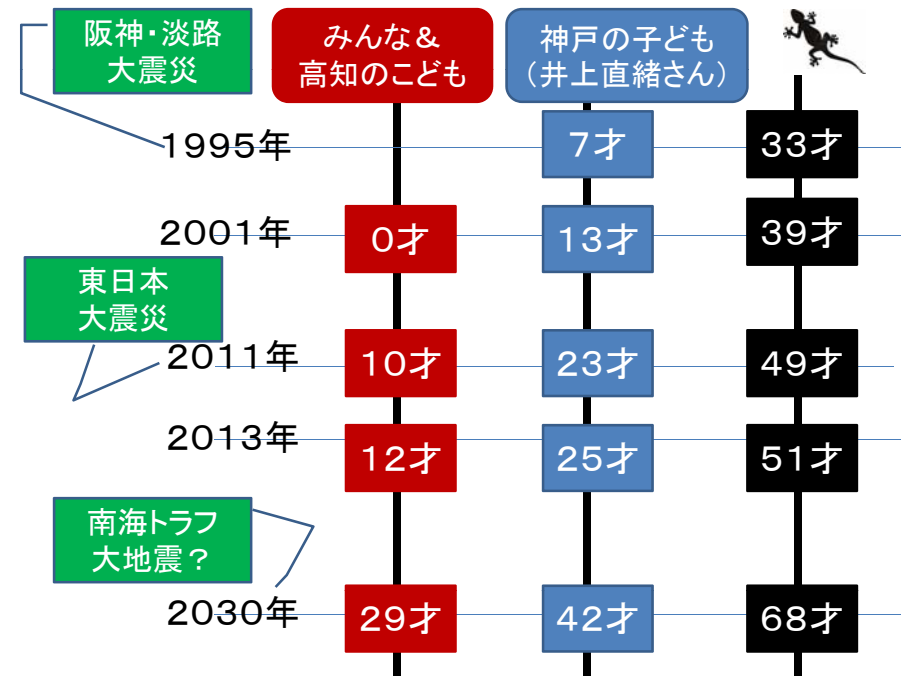
- 今度は、神戸から大学生たちと一緒に野田村に来ました
- 神戸で撮った写真のアルバムの贈呈式、バーベキュー、体育館で授業



次に、神戸、阪神・淡路大震災(1995年)のこと

神戸でも
(阪神・淡路大震災のときも)
子どもたちはがんばりました

↓
ビデオで見てください





- 井上直緒さん
- 阪神・淡路大震災のとき7才、東日本大震災のとき23才、今25才
- お父さんは、神戸消防のレスキュー隊の隊長
- 直緒さんも高校卒業後お父さんと同じ仕事につきました
- そのことを今の神戸の小学生たちに話しています
- 子どものときに大きな災害にあった一人の女の子がその後どう成長していったのか見てください

最後に、高知で南海トラフの地震にそなえる子どもたちのことをお話ししましょう



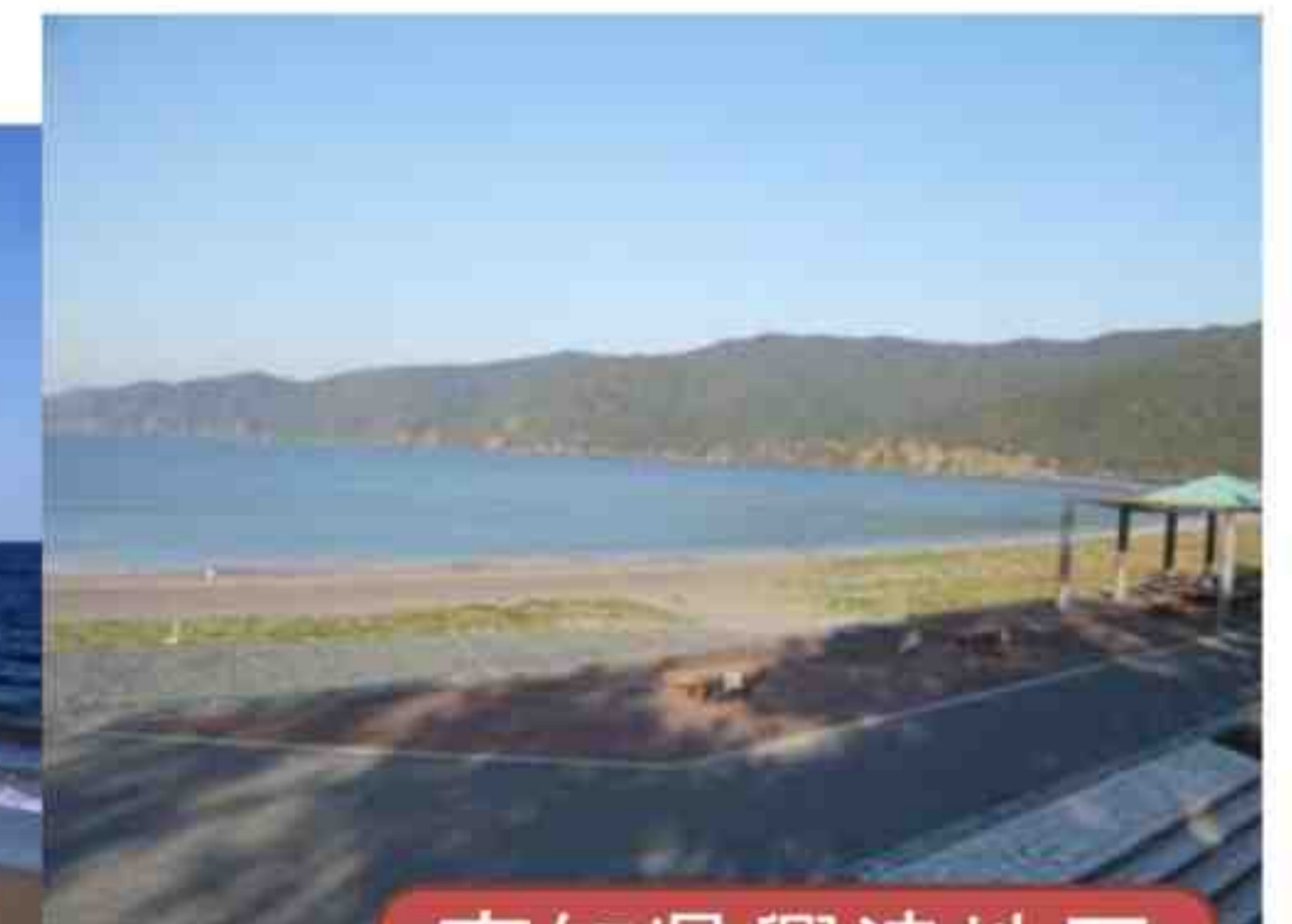
人口:1000人
農業、漁業、海水浴場

高知県四万十町興津地区

高知県
興津小学校



岩手県野田村
十府ヶ浦



高知県興津地区
小室の浜

南海トラフ地震
今30年の発生確率=60%以上
津波の最大高さ20メートル以上
地震から早くも20分くらいで来る